

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(グローバル教育カレッジ)

<p>目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。</p>
<p>グローバル教育カレッジでの授業は、常に社会の多様性に焦点を当て、文化・国籍の他に、世代やジェンダー等の共存・共同参画を教えている。</p>
<p>目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。</p>
<p>目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。</p> <p>●2018年11月7日に「熊本からマラウィへ～多文化理解とコミュニティ～Global Education Interactive Seminar Series」というタイトルで熊本大学卒業生辻望実さんによるアフリカのマラウィの女性や少女達の実態状況をテーマとした公開講演会を主催した。オーディエンスは熊本大学の学生と教職員や地域住民等21人だった。</p> <p>●グローバルリーダーコース学生(以下GLC学生)を対象とした課外活動(GLC Foundation Seminar)内で、ODA出前講座を実施し、外務省国際協力局民間援助連携室の女性主査より国際協力とグローバル人材、外務省における女性のキャリアについて等を講演いただいた。また、同活動内で熊本市議会より緒方夕佳議員を招き、グローバルな視野と女性としての視野を持ってローカルに活動することについて講演いただいた。これらの講演を通して、GLC学生が講演者とインタラクティブにディスカッションをし国際化社会における男女共同参画について学習した。更に、スペイン・バリアドリッド大学において化学工学と環境技術を専門とする教授に講演いただき、グローバル社会における女性研究者としてのキャリアについて講演いただいた。</p> <p>後学期の課外活動では、地域における人口高齢化についてGLC学生がグループに分かれリサーチを行ったが、社会福祉法人熊本市社会福祉協議会の協力のもと、高齢者疑似体験等を通して、少子高齢化社会について学習した。</p>
<p>目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。</p>

その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

熊本大学 2019 年度サマープログラム及びスプリングプログラム委託業務の企画競争において、男女共同参画社会基本法に則り、選考を適正に行っている。